

インフォメーション

医療と介護。そして、その未来へ。

スタッフ
募集

医療法人 清水会

- 鶴見緑地病院
- ミズノ胃腸科・内科・整形外科
- 介護老人保健施設 おひさま園
- 森小路清水会クリニック
- トム・ソーヤ 訪問看護ステーション
- 鶴見緑地病院橋波リハビリセンター

社会福祉法人 清水福祉会

- 特別養護老人ホーム／養護老人ホーム さくら苑
- さくら苑 デイサービスセンター太子橋
- ケアハウス鶴見緑地
- 特別養護老人ホーム 城東こすもす苑
- 特別養護老人ホーム 鶴見緑地苑
- サービス付き高齢者向け住宅 さくら
- 介護付き有料老人ホーム 鶴見緑地
- 小規模多機能ホーム さくら
- 特別養護老人ホーム 城東さくら苑



清水会グループ 統括本部 採用係

〒535-0022 大阪市旭区新森3丁目1-12 ☎06-6952-5188
ホームページ <http://www.seisuiikai.net/> ホームページに求人詳細を掲載しています

編集後記

- ▼本年4月開設予定の福祉施設「城東さくら苑」の建設作業が着々と進められています。365日24時間看護師が常駐、理学療法士が常勤配置を強みに地域ケアシステムの一端を担うべく、職員一同開設に取り組んでいます。
- ▼清水会グループでは、今後、グループの根幹を支える事となる次世代管理職・中間管理職研修を開催。株式会社日本経営の講師を迎え、各々の課題に取り組みました。熱い意見交換も交わされ、有意義な研修となりました。
- ▼各施設で秋祭り・バイキング等行事が行われました。施設特有の取り組みもみられ、参加された方はもとより、施設職員も笑顔あふれる1日となりました。
- ▼看取り研修では、看取りの歴史的変遷から看取りの現状、基本的な考え方を受講しました。看取り介護の在り方、支援を行うものとして、どのように向き合っていくかを改めて考える機会となりました。
- ▼冬場に美味しい寒ブリと大根を使った一品。動脈硬化・生活習慣病・認知症の予防にも効果あり。一度、お試しください。

清水会グループ



医療法人 清水会
鶴見緑地病院
〒570-0044 守口市南寺方南通3-4-8
☎06-6997-0101 図06-6992-0151



医療法人 清水会
介護老人保健施設 **おひさま園**
〒535-0021 大阪市旭区清水2-1-21
☎06-6952-0101 図06-6957-0202



医療法人 清水会
ミズノ胃腸科内科整形
〒535-0022 大阪市旭区新森3-3-31
☎06-6952-5058 図06-6952-5311



医療法人 清水会
森小路 清水会クリニック
〒535-0022 大阪市旭区新森3-3-24
☎06-6958-7070 図06-6952-7755



医療法人 清水会
トム・ソーヤ 訪問看護ステーション
〒535-0022 大阪市旭区新森3-3-31
☎06-6956-0505 図06-6956-0808



社会福祉法人 清水福祉会
介護老人福祉施設 **さくら苑**
〒535-0021 大阪市旭区清水3-15-23
☎06-6957-8008 図06-6957-8009



社会福祉法人 清水福祉会
特別養護老人ホーム **さくら苑**
〒536-0001 大阪市旭区太子橋2-8-31
☎06-4254-3003 図06-6951-1001



社会福祉法人 清水福祉会
介護保険特定施設 **ケアハウス鶴見緑地**
〒570-0044 守口市南寺方南通3-4-16
☎06-6998-3003 図06-6998-3001



社会福祉法人 清水福祉会
特別養護老人ホーム **城東こすもす苑**
〒570-0032 大阪市城東区蒲生2-2-38
☎06-6933-2002 図06-6933-2333



社会福祉法人 清水福祉会
特別養護老人ホーム **鶴見緑地苑**
〒570-0032 守口市菊水通3-16-2
☎06-6995-5005 図06-6995-5225



社会福祉法人 清水福祉会
サービス付き高齢者向け住宅 **さくら**
〒535-0022 大阪市旭区新森3-3-31
☎06-6958-7007 図06-6952-7733



社会福祉法人 清水福祉会
介護付き有料老人ホーム **鶴見緑地**
〒570-0043 守口市南寺方東通1-1-31
☎06-6997-9009 図06-6992-9009



医療法人 清水会
橋波リハビリセンター
〒570-0039 守口市橋波西之町2-4-19
☎06-6991-0030 図06-6991-0220



社会福祉法人 清水福祉会
地域密着型サービス **さくら**
〒535-0021 大阪市旭区清水3-15-17
☎06-6954-7100 図06-6955-6500



社会福祉法人 清水福祉会
特別養護老人ホーム **城東さくら苑**
〒536-0004 大阪市城東区今福西6-6-20
☎06-6939-7000 図06-6939-7010
平成31年4月オープン予定

URL <http://www.seisuiikai.net/>



医療と介護。そして、その未来へ。



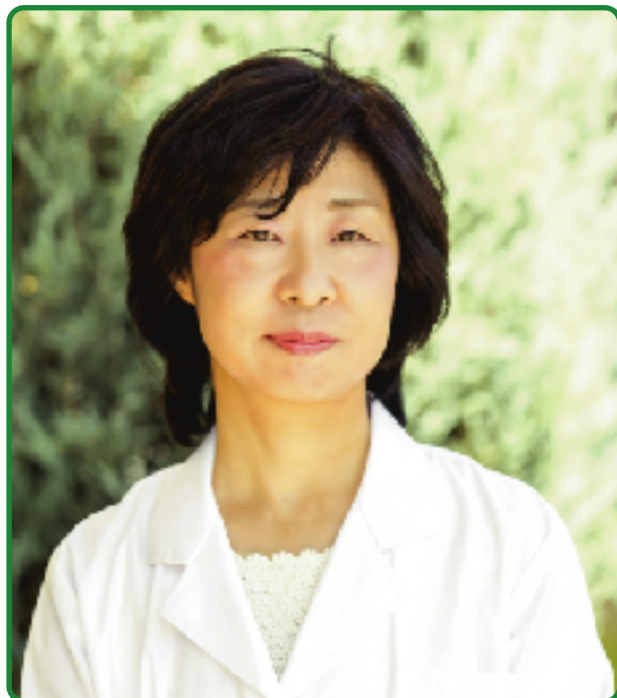
Seisui

Contents

- 02 年頭挨拶(理事長 水野郁子)
- 03 城東区に新施設「城東さくら苑」誕生 4月オープン予定／「城東さくら苑ケアプランセンター」開所
- 04 日本経営による研修(次世代管理職、中間管理職)
- 05 秋祭り(旭さくら苑)／最新型の超音波診断装置を導入
- 06 〈クローズアップ〉看取り研修／気になる症状
- 07 バイキング(おひさま園)／レシピ紹介

表紙写真／「花シリーズ」ザゼンソウ(座禅草)
撮影：山内康雄Dr.(鶴見緑地病院)

2019.01.Vol.24



新年明けましておめでとうございます。
旧年中は何かとご指導、ご支援を賜り、まことに
ありがとうございました。職員一同厚く御礼申し
上げます。

今年は十二支の「亥年」に当たります。よく言われ
ているのは「亥」に木へんを付けると“物事を中心”
を現す「核」という文字になり、亥年は、次の成長
に備えて、個人的には自己研鑽に取り組み、精神
を育てる。組織的には、人材育成や設備投資、財務
基盤を固めるなど、外に向けての活動ではなく、
内部の充実を心がけると良い年と言われています。
ひるがえって昨年は、大きな自然災害に見舞わ
れた一年でした。“天災は忘れた頃来る”と警告
を促した言葉は、災害に遭遇する確率のことを
言われているのだとしたら、近年の甚大な被害
を見るにつけ、忘れる間もなく起こっています。
改めてこの国が「天災大国」であることを思い知
らされ、防災・減災・復興を身に染みて感じる一
年でありました。

その一方で、2016年に続きノーベル医学・生理学
賞の日本人受賞や大リーグでのエンゼルス大谷
選手の劇的デビューや、全米OPでの大坂なおみ
選手の優勝など、日本人の活躍に感動しました。

理念

- 1.私達は 医療、介護、福祉を通じ地域に貢献する。
- 2.私達は 多くの方々に受される施設をめざす。
- 3.私達は 調和のとれた、豊かな人間性の育成に
つとめ、誇りと責任を持ち、日々研鑽
を重ねる。

さらに、2025年の大阪万博の開催が決定される
など、明るい話題もありました。

医療・介護に目を向けると、昨年は診療報酬・介
護報酬・障害福祉サービス等報酬のトリプル改
定が行われました。2025年とその先を見据えた
改革が昨年からはまり、今後、医療を取り巻く環
境は、これまでとは比較にならない程のスピード
で変化し、医療機関のあり方そのものが問われ
る時代になるものと思われます。

清水会グループは今日まで地域に根ざした医療
と介護のネットワークを大切に“地域貢献”“愛
される施設”そして“自己研鑽”の理念の取り組み
を積み重ねてきました。その中に在って、本年4
月には特別養護老人ホーム「城東さくら苑」を開
設予定。規模も定員100床、ショートステイ20床、
更に定員100名のリハビリセンターを兼ねる新
施設となります。清水会グループとしても社会福
祉法人9施設、医療法人6施設となり、医療と介護
をさらに提供していく体制を進めることが出来
ます。世情は何かと不安定要素が多くありますが、
元号の変わる本年、「物事を中心」の充実をはかり、
次のステージの準備をする年と捉え、対応して参
りたいと思います。

新しい年が皆様にとって、実り多い一年となりま
すよう、ご祈念申し上げますとともに、倍旧のご
鞭撻をお願い申し上げます。

医療法人 清水会
理事長 水野 郁子

城東区に新施設「城東さくら苑」誕生 4月オープン予定 Seisui

365日・24時間 看護師が常駐 理学療法士が常勤配置
城東さくら苑ケアプランセンター 開所
平成30年10月1日より業務開始

本年4月開設予定の「城東さくら苑」。
大阪市城東区今福西6-6-20の建設現場では、
建設作業が急ピッチで進められています。
一方、平成30年10月1日には開設準備室が城東
区今福西4-4-17 レモンハウス2階に設けられ、
現在、利用者受け入れのためのさまざまな準備
作業が行われています。そこで、開設準備室を訪
ねて現在の状況をお聞きしたのは中山真理子
看護部長、生活相談員の三宅真人主任、同じく
藤井知弥副主任です。

また、同時にスタートしている「城東さくら苑
ケアプランセンター」の主任介護支援専門員・
大山紫織さんに、仕事の現況をお聞きしました。
開設準備室では、運営にかかわる研修や施設運
営のプラン作り、新施設を紹介する営業活動等
が行われています。「城東さくら苑の運営の方
向性とサービスの質を高めるための研修に力
を入れています」と語るのは中山看護部長。
「城東さくら苑の特色や理念を役職者はもとよ
り、一人ひとりのスタッフに至るまでよく理解
してもらい、同じ認識に立って開設を迎えるこ
とが大事だと考えて取り組んでいます」と強調
しています。

一方、営業に奔走している三宅主任と藤井副
主任は営業活動を展開するに当たり強調してい
る「城東さくら苑」の強みは！「365日・24時間
看護師が常駐すること。」「理学療法士が常勤配
置されること。」だと声をそろえています。
近辺のみならず、6市15区まで営業範囲を広げ
ているが、手ごたえは上々で、大変良い反応が得
られているとのこと。特別養護老人ホーム定員
100床、ショートステイ定員20床、リハビリセン
ター定員100名の新施設「城東さくら苑」は本年
4月の開設に向けて着実な前進をしています。
また、開設準備室と同じ住所で、平成30年10月
1日から業務を開始している「城東さくら苑ケア
プランセンター」。立ち上げから取り組んでいる
大山さんは、「城東区に、居宅介護支援センター
が開設されたことを地域の人に知って頂くこと
から始まりました。3か月余りが過ぎて定着して
きました。大変やりがいのある仕事を楽しくや
らせて頂いています」と笑顔で語っています。



完成予想図



城東さくら苑への
お問い合わせは
電話06-6939-7000(三宅・藤井まで)
城東さくら苑ケアプランセンターへの
お問い合わせは
電話06-6933-8200(大山まで)

日本経営による研修（次世代管理職、中間管理職）

株式会社日本経営の講師による「次世代管理職研修」「中間管理職研修」を下記のように、開催しました。



次世代管理職研修

- ◎日時：第1回研修
6月19日（火）13:00～16:30
第2回研修
10月12日（金）13:00～16:30
- ◎場所：鶴見緑地病院 5階会議室
- ◎参加対象者：法人内の事務課長・事務課長代理 5名参加
- ◎研修内容：BSC（バランススコアカード）研修
ファシリテーションスキルの習得
- ◎講師：日本経営（小畑様・宮本様）

今年度から当法人で取り組んでいる「BSCによる目標設定管理について」を研修の題材とし、もう一度、基礎から学びました。最初は、「BSCとは」から始まり、「アクションプラン（行動計画）の作成」まで、実際に作業をしながら、体験する事で理解を深める機会となりました。また、チームをまとめる為に必要なファシリテーションスキルについて学びました。最終日には、水野智志理事長、水野郁子理事長を前に、各参加者からBSCの取り組み状況の発表があり、活発な意見交換が見られ、有意義な時間となりました。

中間管理職研修

- ◎日時：第1回研修
7月28日（土）13:00～19:00
第2回研修
9月29日（土）13:00～15:30
- ◎場所：さくら苑 地域交流スペース
- ◎参加対象者：法人内の全職種の主任・主任候補 34名参加
- ◎研修内容：医療・福祉機関におけるリーダーの役割と責任
- ◎講師：日本経営（宮本様・小森様）

グループワークを中心にした講義で「リーダーの役割と責任について」を学びました。2回を通しての継続研修であり、第1回研修の終了後には、課題の提出が4つ（2つは課題図書を読んだレポート）求められました。第2回研修の終了後にも、それぞれが掲げた課題解決の取り組み状況について、半年後には経過、成果のレポート提出を求めています。研修後のアンケートでは、法人内の主任が一同に集まって、研修を受ける機会は今までなく、主任として同じ悩みを持つ職員と意見交換を交わす事で、良い刺激の場となったと多数の意見が寄せられました。

特別養護老人ホーム旭さくら苑 秋祭り

平成30年9月15日（土）特別養護老人ホーム旭さくら苑にて、秋祭りが開催されました。



当日は天気もよく、入居者さま、ご家族さま、地域の方々が多数参加をされ、にぎやかに執り行われました。テイルームでは、旭区役所による防災対策講習の他、地域のボランティアの方々による演奏、民謡、よさこいソーラン、盆踊りなどが開催されました。また、恒例になっている海坊主カリホ（職員有志のボランティアグループ）によるエイサーが会場を盛り上げました。その他にも、地域交流スペースでは、外部のボランティアによる押し花キーホルダーやハンドマッサージ、フラワーアレンジメント等のワークショップのブースを去年から設けており、入居者

さまも鑑賞するだけでなく、実際に作ったり、マッサージを受けたりして、楽しまれていました。1階玄関前では、屋台コーナーとして、フランクフルト、ポテト、焼き芋、パン等の屋台が並べられ、ゲームコーナーでは、ヨーヨー釣り、スーパーボールすくい、お菓子釣り等があり、地域の方々との交流を深める良い機会となりました。

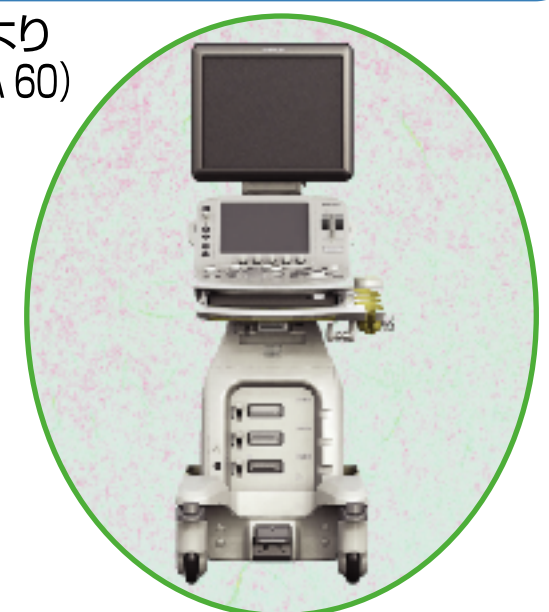
最新型の超音波診断装置を導入

鶴見緑地病院では、平成30年10月1日より最新型の超音波診断装置（HITACHI ARIETTA 60）を導入しました。

超音波診断装置とは、超音波（人間の耳には音として感じられないほど周波数が高い音波）を利用し、生体内部の組織の構造や動きを画像化する診断装置の事です。

HITACHI ARIETTA 60は、多様な検査シーンにおいて快適に検査を実施できるように人間工学に基づいて設計されています。

定評のある操作性をさらに磨き、検査する人にも、患者さまにも、より大きな安心と、快適な検査環境を実現します。微かな変化も捉える新開発の画像技術で、これまでにない詳細で信頼性の高い画像を提供します。



クローズアップ closeup!

***** 看 取 り 研 修 *****

超高齢社会の昨今、最期の時を医療機関ではなく、自宅・施設で迎えたい、迎えさせたいとの声(思い)が多く聴かれています。

当法人施設でも今まで以上に、積極的に看取り介護を行ってこうと動き出しております。今年度は事業所内外での研修会参加に加え、鶴見緑地病院の岩坂名誉院長による看取り介護についての勉強会を6か所の福祉施設で各2回開催を計画いたしました。看取り介護の目的は、終末期にある方が尊厳を保ちつつ、身体的・精神的な苦痛を緩和されて人間らしく、本人らしく生を全うすることです。最期の限られた時間に職員としてどのように関わり、どう寄り添うのかはもちろん、日々の日常生活援助サービスにおいてどのような姿勢で関わるのかなど事例を含めてのお話が多く、職員全員が真剣に受講している姿は印象的でした。



気になる症状【Q&A相談コーナー】

Q:物忘れがして困っていますが――

A:「最近、物忘れが出てきたような気がします」とおっしゃる患者さまが増えています。その「もの忘れ」はただの老化ではないかもしれませんが。放っておくと、認知症へと進行するかもしれないことをご存じでしょうか？厚生労働省の2015年1月の発表によると、日本の認知症患者数は2012年時点で約462万人、65歳以上の高齢者の約7人に1人と推計されています。認知症の前段階とされる「軽度認知障害(MCI: mild cognitive impairment)」と推計される約400万人を合わせると、高齢者の約4人に1人が認知症あるいはその予備群ということになります。

- ☐ 最近もの忘れが多くなってきた
- ☐ 物の名前が出なくなってきた
- ☐ 日課をしなくなった
- ☐ 些細なことで怒りっぽくなった
- ☐ つい最近の出来事を忘れている
- ☐ 以前あった関心や興味が失われた、意欲がなくなった
- ☐ 夜中に起きだして何かをしている(昼夜逆転)
- ☐ 置き忘れや、しまい忘れが目立ってきた
- ☐ ポーっとしている時間が多くなった
- ☐ 時間や場所の感覚が不確かになってきた



鶴見緑地病院
杉本 佳嗣 医師
SUGIMOTO YOSHITSUGU

いくつ当てはまりましたか？ 4つ以上のあなたは、軽度認知障害(MCI)かもしれません。軽度認知障害とは認知症になる前の状態で、認知症予備軍にあたります。記憶などの認知機能に低下が見られますが、日常生活には支障がない状態のことです。ただし、放っておくと、認知機能の低下が続き、5年間で約50%の人は認知症へと進行すると言われています。

気になる方は、当院の物忘れ外来がありますので是非一度受診してみてくださいね。

※物忘れ外来は予約制となっております。外来担当医もしくは看護師にお気軽にご相談ください。

EVENT イベント

介護老人保健施設 おひさま園

バイキング

平成30年10月18日 おひさま園でバイキングを開催しました。

家族さまと入所者さまと一緒に食事できる場を作ればと始めたのがきっかけで、今では年に4回開催しています。デイルームとリハビリルームにテーブルをセッティングし、普段の食事とは違った雰囲気でお食事いただいています。バイキングのメニューはコンセプトを決めてマンネリ化しないように考えており、居酒屋メニューに世界の料理、中華バイキングなどなど…。特に人気なのは日本縦断ご当地フェアです。郷土料理を取り入れることで、皆さまそれぞれの故郷の話題で食事の会話にも花が咲くことが人気の理由かもしれません。バイキングの鉄板メニューはちらし寿司！！これは絶対にはずせません。ホットプレートなどを使用し、目の前で調理している料理を選ぶことが出来るのもバイキングの醍醐味だと思います。入所者さま、デイケア

の利用者さま、皆さまがバイキングの日を待ち遠しく楽しみにしてくださっています。



レシピ紹介コーナー 栄養課



有料老人ホーム鶴見緑地
管理栄養士 佐野真由美
SANO MAYUMI



ぶりのみぞれ煮

脂がのった寒ブリに上品なだし汁を吸ったみぞれ、香り立つ柚子が絶品の献立です。ぶりに含まれる脂はDHAやEPAといった不飽和脂肪酸が豊富で、これらは血中コレステロールや中性脂肪を低下させ動脈硬化や生活習慣病、認知症の予防に効果が期待されています。また、血合肉にはタウリンや鉄分も多く含まれているため肝機能強化や貧血予防にも効果的です。

recipe

【材 料】(2人分)

ぶり……………2切れ
大根……………10cm
塩……………小1/3
油……………大さじ2
薄力粉……………適量
柚子の皮……………適量
カイワレ大根……………10g
だし汁……………250cc
みりん……………大さじ1.5
酒……………大さじ2
薄口醤油……………大さじ1.5

【作り方】

- ①ぶりに塩をして冷蔵庫で1時間置く。大根は卸してザルにあげ水分を自然にきる。
- ②ぶりの水気を拭き薄力粉をはたき、フライパンに油を入れて両面を焼く。
- ③鍋にAを入れて中火にかけ、沸騰したら②のぶりを入れ5分程煮たら大根卸を入れ温まる程度に火を入れる。
- ④器に盛り、刻んだ柚子の皮を散らし湯通ししたカイワレ大根を添える。